（別紙）落札者決定基準

1　技術提案書の評価項目及び加算点の配点（200点満点）

評価項目	評価基準	加点範囲	加算点配点
①業務実施の基本方針および法人の信頼性			
(1)業務実施の基本方針 （様式2-1-A）	神奈川芸術劇場の特性をどう捉え、どういう基本方針のもとに業務に当たるかの提案。	0～15	35
(2)法令順守の体制および事故防止策 （様式2-1-B）	劇場で働く上で必要な法令の理解や、その実践のための体制、事故防止の具体的方策について。	0～10	
(3)緊急時の対応 （様式2-1-C）	劇場運営上起こりうる「緊急事態」をどう想定しどう対応する体制を整備するかについて。	0～10	
②業務実施の考え方			
(1)劇場内各施設における業務の考え方 a) ホール（様式2-2-A） b) 大スタジオ（様式2-2-B） c) 中小スタジオ（様式2-2-C） d) アトリエ（様式2-2-D） e) アトリウム（様式2-2-E）	神奈川芸術劇場における各施設の特性を踏まえ、館のミッションに沿った有効な運営方法、および安全な管理のあり方についての提案。	0～50	95
(2)事業形態ごとの業務の考え方 a) 主催・提携事業（様式2-2-F） b) 貸館事業（様式2-2-G）	芸術劇場の特性を踏まえ、それぞれの業務形態ごとに、劇場で従事する一員として、劇場内の他のセクション、スタッフ、関係者との連携も含めた業務への取組み方についての提案。	0～20	
(3)財団の運営する他館との連携について （様式2-2-H）	（公財）神奈川芸術文化財団の運営する神奈川芸術劇場・神奈川県立音楽堂が有機的につながりながら地域の文化拠点としての使命を果たすための提案。	0～10	
(4)新しい照明技術およびその活用について （様式2-2-I）	昨今の舞台照明およびその周辺の世界で起きている機材・技術の動向で注目すべきこと、特に神奈川芸術劇場の作品創作に活用しうる要素について。	0～15	
③人材配置および人材育成			
a)技術者チーフ（様式2-3-A） b)担当技術者A・B（様式2-3-B）	芸術劇場の特性をふまえ、どのような人材を配置し、技術的な向上・蓄積を含め、どのように劇場のミッションの実現に貢献していくかの提案。	20	20
④業務実績			
(1)舞台芸術作品の上演活動への参加実績 （様式2-4-A）	神奈川芸術劇場が主に上演する演劇・ミュージカル・ダンス等の舞台作品において、デザイン・オペレートの分野で作品創造および上演に参加した、過去5年間（令和3～7年度）における実績。提出件数の上限は設けない。資料添付可。	0～40	50
(2)類似施設の管理運営業務受託実績 （様式2-4-B）	神奈川芸術劇場に類似の劇場・ホール等の管理運営を受託した、過去5年間（令和3～7年度）における実績。	0～10	
			200

2　落札者の決定方法

参加資格を有する者のうち、総合評価点が最も高い者を落札候補者とし、当該落札候補者の落札資格確認を行った後落札者に決定する。

総合評価点は、技術評価点を入札価格で除して100万を乗じて得た値とする。

技術評価点は、入札価格が有効な範囲内にあり技術提案書を提出した者について算出する。
技術評価点は、標準点(50点)と加算点(200点)を合計した値とする。
技術評価点は、上記評価項目に基づき提案内容を審査し、各審査委員の平均点を算出した点数とする。
※　入札価格が予定価格を超えた場合は技術提案書の評価を行わない。
※　入札価格率が対予定価格90%未満の場合は、入札価格を予定価格の90%と置き換えて総合評価点を算出する。

総合評価点の最も高い者が複数となった場合の対応
(1)　総合評価点の最も高い者が複数となった場合、技術評価点の高い者を落札候補者とする。
(2)　総合評価点および技術評価点が同点であった場合は、入札価格の低い者を落札候補者とする。
(3)　総合評価点および技術評価点が同点で、入札価格も同額であった場合は、くじ引きにより落札候補者を決定する。